

StarSuite 7 と Microsoft Office

主な機能の違い

トピック	マクロの相互運用性
解説	VBA (Visual Basic for Applications)マクロのコードを StarSuite に自動変換する方法はありません。StarSuite は搭載している IDE (統合開発環境)にマクロのコードをインポートしますが、注意が必要です。
影響	インポートされた Microsoft の文書に付加されているマクロ機能は動作しません。マクロ機能が必要な場合は、StarSuite API を使用してマクロを書き直す必要があります。インポートされた文書を再度 Microsoft ファイル形式に保存する場合は、マクロのコードが保持されるため、通常通りマクロを実行できます。
コメント	次期リリースにてマクロ移行ツールを提供する予定です。
トピック	3D グラフィックスエンジンのアーキテクチャの違い
解説	Microsoft Office では StarSuite で使用されている 3D エンジンとは異なり、Escher 3D エンジンを使用しています。StarSuite では MS Office 3D オブジェクトをインポートし、StarSuite 固有のオブジェクトに変換する機能があります。見た目に若干の違いがありますが、すべての関連機能(回転、表面など)を含め、3D オブジェクトとして保持されます。しかし、StarSuite では 3D オブジェクトを Escher エンジン形式にエクスポートする機能はありません。
影響	StarSuite で作成または修正された 3D オブジェクトは、Microsoft Office ファイル形式にエクスポートした際、フラットな画像に変換され、3D 固有の機能は失われます。
トピック	ワープロ文書で使用されている表のアーキテクチャの違い
解説	StarSuite Writer で表を挿入する場合、機能的にいくつかの制限があります： <ul style="list-style-type: none"> × 表セル内での改ページができない × 表の入れ子(表セル内の表)ができない × セル背景に網かけパターンが使用できない × 線の種類に制限がある
影響	表を使用した Microsoft Word 文書のインポート・エクスポートは問題が生じることがあります。特に表内での改ページは、インポート後に文書の体裁を整える必要が生じることがあります。
トピック	Microsoft インポート機能の制限
解説	現状 Microsoft Office 形式へのインポート・エクスポートでは、以下を含む文書のインポート時に発生する問題に備える必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> × Microsoft 固有フォームフィールドの制御 × 文字のアニメーション × Microsoft ワードアート機能を使用したテキスト
影響	上記のオブジェクトを含むドキュメントのインポートでは、インポート後に手動修正が必要なことがあります。

StarSuite 7 と Microsoft Office - 主な機能の違い

トピック	きれいに整形されていないドキュメントを変換するときの制限
解説	テキストの整形にたくさんのタブ、スペース、改行を使用している Microsoft Office 文書では、インポートフィルタが制限値を超えることがあります。
影響	粗末な書式をたくさん含む Microsoft テキスト文書では、インポートした文書を整形する必要が生じることがあります。
コメント	Microsoft Word の「スタイル」や StarSuite の「スタイリスト」を使用することにより、互換性の高い文書を作成できます。
トピック	StarSuite の表計算では 32,000 行に制限されている
解説	StarSuite Calc では 1 つのワークシートに最大 32,000 行しか保持できません。
影響	32,000 行以上必要な場合は、同じ表計算文書中に別のワークシートを作成する必要があります。1 つのワークシートが 32,000 行以上ある Microsoft Excel 表計算をインポートする場合、32,000 行を超過した行はインポートされません。
コメント	次期リリースでは、Microsoft Excel 同様 65,536 行をサポートする予定です。
トピック	ピボットテーブル(Excel)とデータパイロット(Calc)の違い
解説	ピボットテーブルは複雑なデータ分析に使用されます。名称の違いのほかに、主な違いは次のとおりです: <ul style="list-style-type: none"> x StarSuite Calc ではダイナミックなグラフの作成ができない x Microsoft Excel に比べ分析機能が少ない
影響	ピボットテーブルの機能を多く使用している Excel 文書のインポートでは、機能の失うことがあります。
トピック	Microsoft PowerPoint と StarSuite Impress の機能の違い
解説	切り替え効果が少ないほかに、主な違いにはタイムライン機能があります。タイムラインは正確なタイミングでオブジェクトアニメーションを実行するのに使われます。StarSuite Impress ではオブジェクトアニメーション(テキストのスライドインなど)を行う間隔を 1 つだけ設定できますが、Microsoft PowerPoint では、アニメーションを付けたい任意のオブジェクトに対して、個々にタイミングを設定できます。
影響	自動プレゼンテーションを広範に作成している場合は、この機能が失われることがあります。個々のタイミングでオブジェクトのアニメーションを付けたい場合は、手動でアニメーションを起動する必要があります。